

肝疾患診療連携拠点病院 山口大学医学部附属病院 肝疾患センター主催

平成30年度 肝疾患研修会 開催報告

山口大学医学部附属病院
肝疾患センター事務局

山口大学医学部附属病院肝疾患センターでは、山口県肝疾患診療連携拠点病院の事業として、毎年肝疾患診療に携わる方を対象とした、肝疾患研修会を開催しております。

この度、平成30年11月6日（火）にANAクラウンプラザホテル宇部において、平成30年度肝疾患研修会を開催しました。県内医療機関の医師や看護師、保健師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、MSWなど、174名が受講されました。

〔第一部〕「一般講演」

日高 勲 肝疾患センター副センター長の司会のもと、医師・県（行政）・看護師それぞれの立場から、肝疾患診療の現状についてご講演いただきました。

はじめに医師の立場から、日高肝疾患センター副センター長より、C型慢性肝炎・肝硬変に対する最新の抗ウイルス治療について、さらにチーム医療での肝炎陽性者の院内受診勧奨の取り組みについて紹介がありました。

次に行政の立場から、山口県健康増進課 東主任主事より、肝炎治療医療費助成制度と、12月から新たに開始される肝がん・重度肝硬変治療特別促進事業についてフロー図をもとに説明がありました。

最後に看護師の立場から、山口大学医学部附属病院看護部 増井看護師より、山口県肝疾患コーディネーターの各施設での様々な取り組みについて報告があり、知って肝炎プロジェクトミーティングについても紹介がありました。

〔第二部〕「特別講演」

坂井田 功 肝疾患センター長の司会のもと、川崎医科大学 肝胆膵科学 日野 啓輔教授をお迎えし、「肝癌撲滅に向けて今何が起きているのか」と題して、ご講演いただきました。

肝疾患で亡くなる方を減らすため、肝炎から一歩進んで肝癌も無くそうということをテーマに、ウイルス性肝炎のキャリア数の現状、B型肝炎の最新治療、肝細胞癌の治療の今後の展望など様々な内容で講演がありました。

最後に、受講者へのメッセージとして「肝癌にならない人を増やして欲しい。その為に日頃の啓発活動に取り組んで欲しい。」と締めくくられました。

この度は、多くの県内医療機関の皆様にご参加いただき、研修会を受講していただきました。
肝疾患センターでは、これからも医療従事者や市民の方々に向けた研修会を計画していきますので、皆様の参加をお待ちしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

《研修会風景》

